

製材等木拾い表 (計画)

作成者
(施工者)

部 材 名	規 格				利 用 数 量				備 考
	樹種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚み (mm)	数量 (枚)	単位あたり 材積 (m ³ /本)	道産木材利用 材積 (m ³)	道産以外の木材 利用材積 (m ³)	
道産木材									
道産以外の木材									
合計							(A)	(B)	
総材積							(A+B)		
道産木材の利用量割合 (%)							$\% (A / (A+B)) \times 100$		

- ※1 交付の対象となる建築物に使用する木材 (床内外装材以外) について全て記載すること。
- ※2 部材名欄には、通し柱、管柱、間柱、筋かい、束、土台、大引、根太、梁、桁、母屋、棟木、胴差、床材、壁材等を記載すること。
- ※3 木材の利用材積は、小数点以下第5位を四捨五入し、小数点以下第4位とすること。
- ※4 本表が2頁以上になる場合は、頁毎に道産木材の利用材積及び道産以外の木材利用材積の小計を記入すること。
- ※5 道産木材の利用量割合欄は、小数点以下第2位切捨てにより、小数点以下第1位とすること。
- ※6 計算式は、変えないこと。